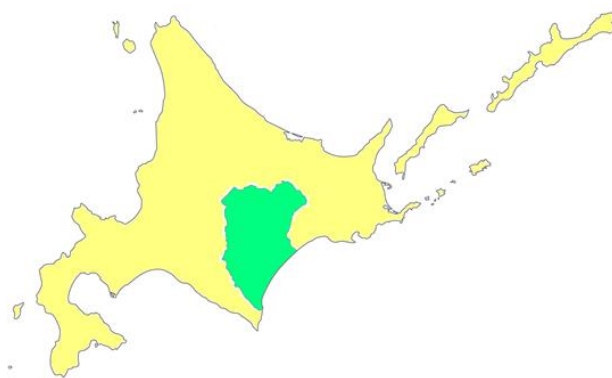


と か ち 経 済 情 報

令和 8 年 4 月 ～ 6 月



財務省 北海道財務局 帯広財務事務所



北海道財務局
公式マスコット
キャラクター
きたまるん



第13回全共
北海道大会
マスコットキャラクター
和ぎゅりー

【利用上の注意】

・公表数値は、推計方法の変更等により、過去に遡って改訂される場合がある。

【問い合わせ先】

財務省 北海道財務局
帯広財務事務所 財務課
〒080-0015
帯広市西5条南8丁目
帯広第2地方合同庁舎
TEL 0155 (25) 6381

と か ち 経 済 の 概 況

有効求人倍率、生乳生産は前年を下回っている。一方で、個人消費は持ち直しており、観光は緩やかに回復しつつあるほか、公共事業、住宅建設は前年を上回っている。

このように管内経済は、**持ち直している**。

項目	前回(令和8年1月～3月)	今回(令和8年4月～6月)	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	➡
1. 個人消費	持ち直している	持ち直している	➡
2. 観光	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	➡
3. 雇用情勢	有効求人倍率は前年を下回る	有効求人倍率は前年を下回る	➡
4. 生乳生産	前年を下回る	前年を下回る	➡
5. 公共事業	前年度累計を上回る	前年度累計を上回る	➡
6. 住宅建設	前年を下回る	前年を大幅に上回る	➡

先行き	所得環境が改善する下で、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、中東情勢および金利の動向に引き続き注意する必要がある。
-----	--

【参考】

項目	前回(令和8年1月～3月)	今回(令和8年4月～6月)
企業倒産	負債総額は前年を下回る	負債総額は前年を上回る
金融	貸出金残高は前年を上回る	貸出金残高は前期並み

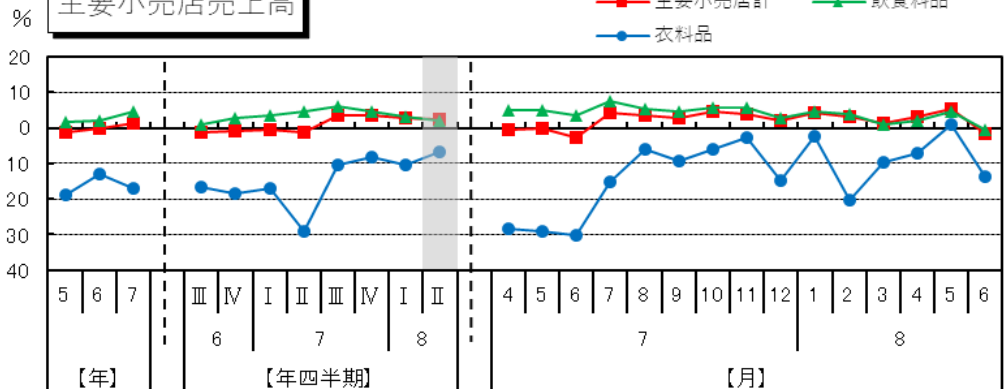
1. 個人消費 持ち直している

主要小売店売上高は、衣料品が前年を下回っているものの、飲食料品、雑貨、家庭用品は前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

乗用車販売（新車登録・届出台数）は、前年を上回っている。

このように、個人消費は持ち直している。

主要小売店売上高

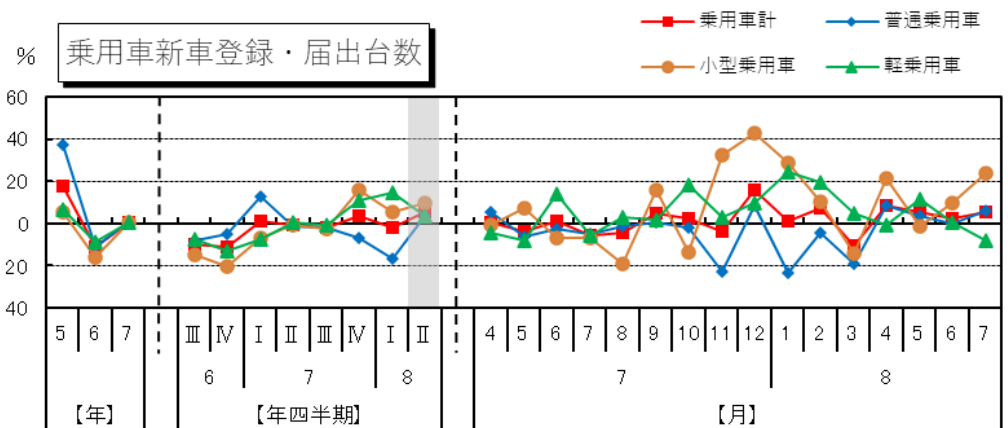


<資料：管内主要小売店>

〔4-6月前年同期比〕

主要小売店計 +2.4% 飲食料品 +2.1% 衣料品 ▲6.8%

乗用車新車登録・届出台数



<資料：帯広自動車販売店協会>

〔4-6月前年同期比〕

乗用車計 +5.2% 普通乗用車 +3.8% 小型乗用車 +9.7%

軽乗用車 +3.6%

〔企業・団体の生の声〕

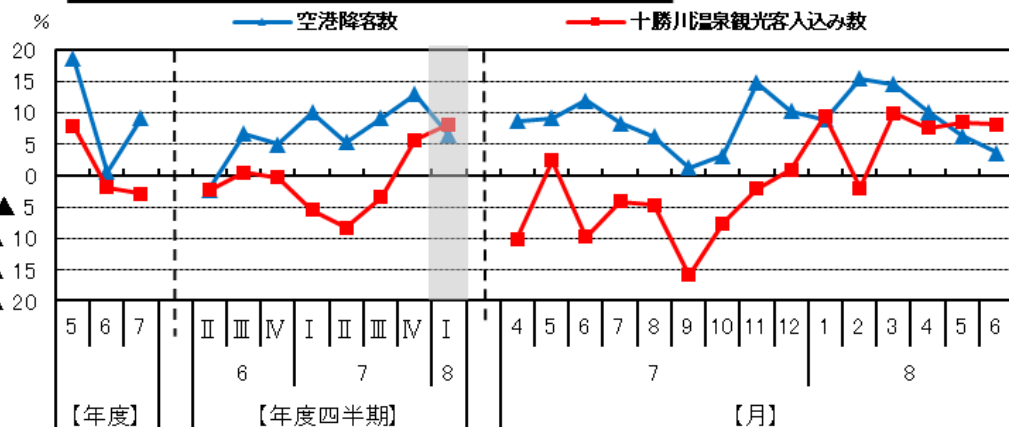
- GWは天候には恵まれなかったが、家飲み需要の高まりから酒類が好調だった。円高や物価高の影響もあり、遠出する人が少なかったということもあったようで、連休中の売上は前年比増加した。
- ガソリン価格や物価上昇により、近場で遊ぶ意識が高まっている。気候変動の影響により、安心な屋内で遊ぶ意識の高まりもあり、ゲームコーナーやガチャガチャの集客、売上が伸びているのを感じる。
- 昨年は猛暑の影響でエアコンが売れたが、今年は省エネ基準変更前の駆け込み需要により更に売れている。2台目需要も増加している。
- 4月に環境性能割が廃止になったことによる反動増に加えて、各社の新型発売による効果で全体を通して好調であった。
- 中東情勢の影響について、修理用の塗料や板金など製造の方では影響がすでに出ているが、販売側に影響が出てくるのはまだもう少し後だと考えており、見通しは不透明な状況である。

2. 観光

緩やかに回復しつつある

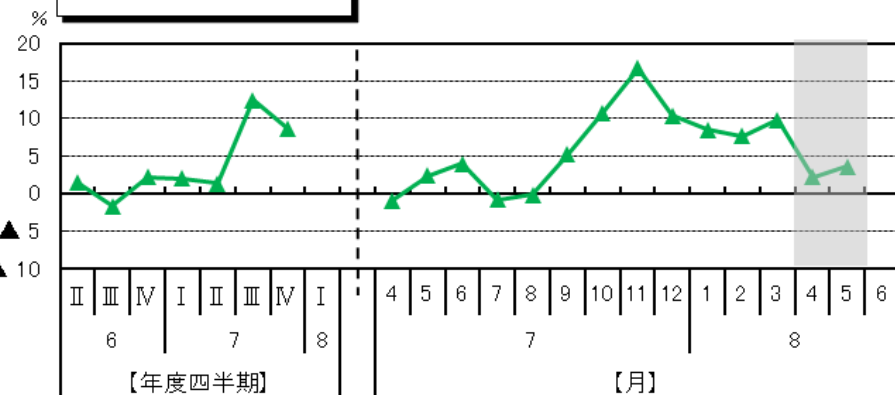
空港降客数、十勝川温泉観光客入込み数、市内ホテル宿泊客数はともに前年を上回っており、緩やかに回復しつつある。

空港降客数及び十勝川温泉観光客入込み数



＜資料：北海道エアポート(株)帯広空港事務所、音更町（主要旅館5社）＞

市内ホテル宿泊客数



<資料：日本銀行釧路支店帯広事務所>

〔4-6月前年同期比〕

空港降客数 +6.5% 十勝川温泉観光客入込み数 +8.2%

市内ホテル宿泊客数 (4月前年比)+2.2%、(5月前年比)+3.6%

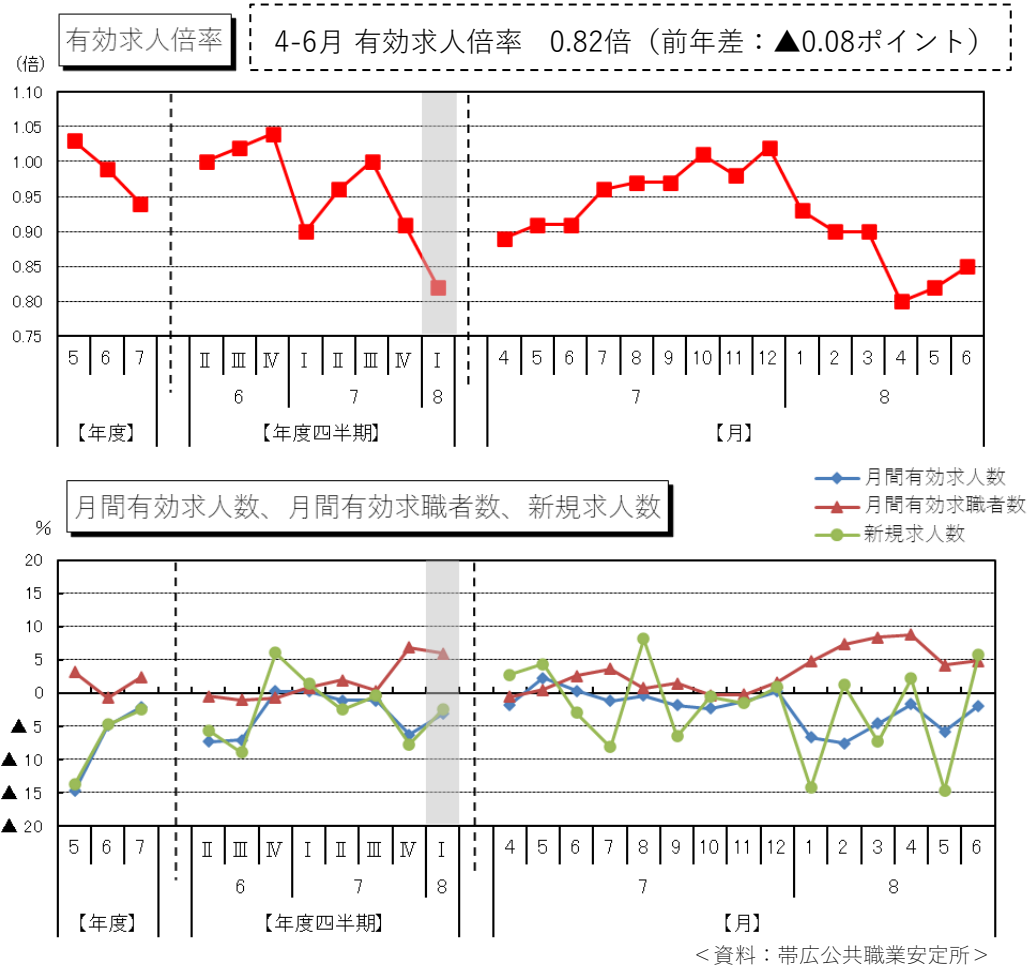
[企業・団体の生の声]

- ▶ 帯広空港では、JALの帯広-羽田線が初便と4便目が大型の機材になったことから、全体では提供座席数が大幅に増加し、総旅客数を牽引することになった。
- ▶ 韓国定期便は中東情勢によるジェット機燃料代高騰により仁川線、清州線が運休となったため、5~6月の海外降客数は前月比で大幅に減少している。
- ▶ 12月から帯広-伊丹線の運航が開始されることが決定した。今まであまり見込めなかった関西圏からの旅行者客増加には大いに期待している。
- ▶ 十勝川温泉では、韓国定期便の運休により韓国人の利用者数が大きく減ってしまった一方で、日帰り客や国内客が好調である。
- ▶ 飛行機座席の団体枠の確保や運転手不足によりバスの手配が難しく、また、確保費用が高騰しているため、ツアー商品の作成が難航しており、個人や家族連れのインバウンド客が増えている。
- ▶ 6月にとちプラザで行われた国際研究フォーラムの影響で、市内の宿泊施設で急激に部屋が足りない状況になり、単価を上げたため売上が大幅に増加した。

3. 雇用情勢 有効求人倍率は前年を下回る

雇用情勢（パートを含む常用）をみると、月間有効求職者数は前年を上回り、月間有効求人数が前年を下回ったため、有効求人倍率は前年を下回っている。

新規求人数は、前年を下回っている。



〔4-6月前年同期比〕

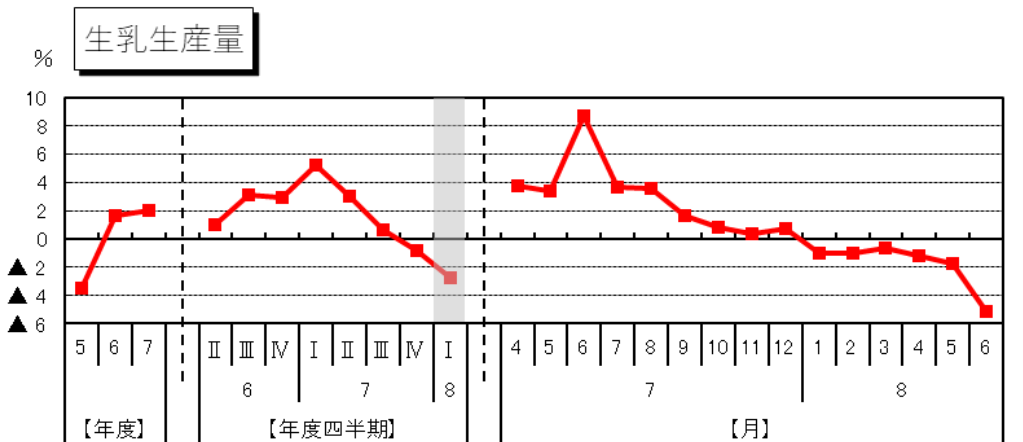
月間有効求人数 ▲3.2% 月間有効求職者数 +5.9%
 新規求人数 ▲2.5%

〔企業・団体の生の声〕

- 人手は不足しているが、人件費高騰の影響もあり一部企業では採用を抑制する動きがみられる。
- AIの活用等による将来的な人員削減を見据え、以前は採用していた余剰人員を減らし最低限の募集に留める動きがある。
- 農業関連の運送付帯事業の求人が例年より早めに出ており、継続すれば増加要因になる。
- 採用活動の一環としてSNSを利用しており、そこで出している動画などからも一定の効果が生まれているようだ。

4. 生乳生産 前年を下回る

生乳生産量は、前年を下回っている。



〔4-6月前年同期比〕

生乳生産量 ▲2.7%

〔企業・団体の生の声〕

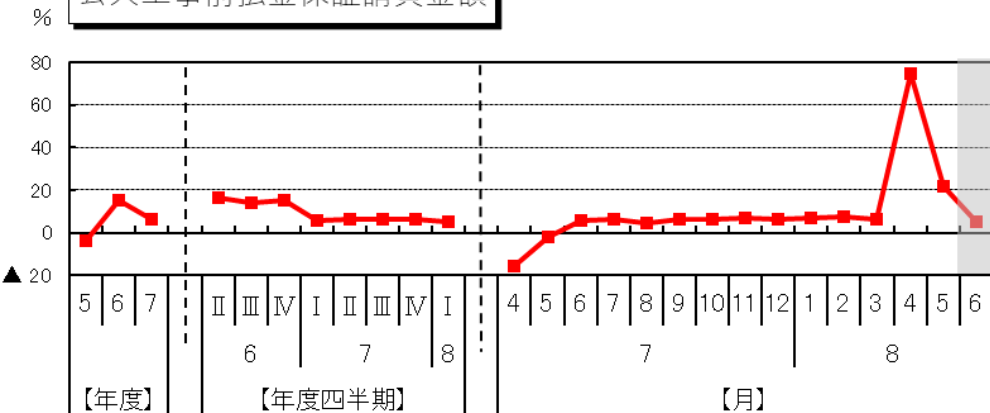
- 昨年の生産抑制解除による反動増が落ち着いたことに加えて、昨年の酷暑の影響で母牛の分娩時期が後ろにずれたため、生産量が減少している。

<資料：十勝総合振興局>

5. 公共事業 前年度累計を上回る

公共事業を前払金保証請負金額でみると、道路および上下水道・公園で増加したことから、前年度累計を上回っている。

公共工事前払金保証請負金額



〔6月末前年度累計比〕

前払金保証請負金額 +4.9%

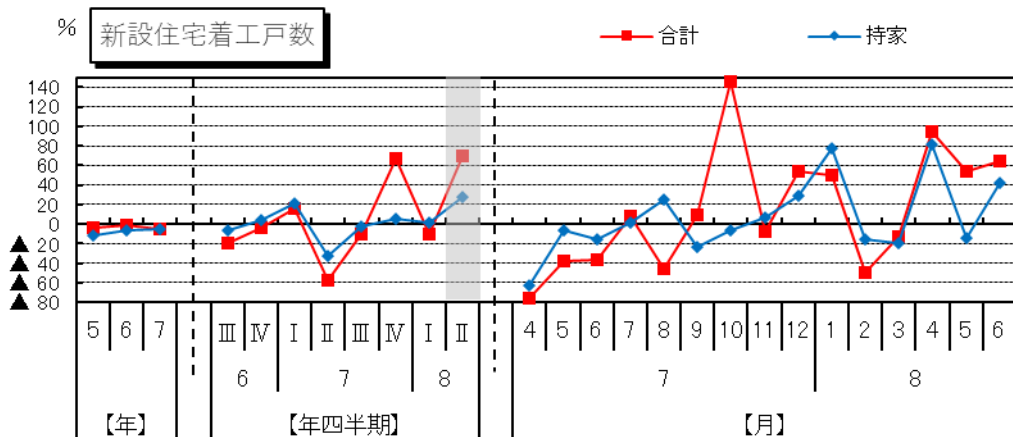
〔企業・団体の生の声〕

- 中東情勢の影響で、排水管、断熱材、シーリング材、塗料等の入手が困難となる可能性があるためメーカーや協力会社から聞いており、アスファルト、電線・銅線、合成樹脂などの値上げが進んでいる。

<資料：北海道建設業信用保証㈱>

6. 住宅建設 前年を大幅に上回る

住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、持家は前年を上回り、貸家、分譲住宅は前年を大幅に上回っている。



〔4-6月前年同期比〕

合計 +69.5% 持家 +27.3%

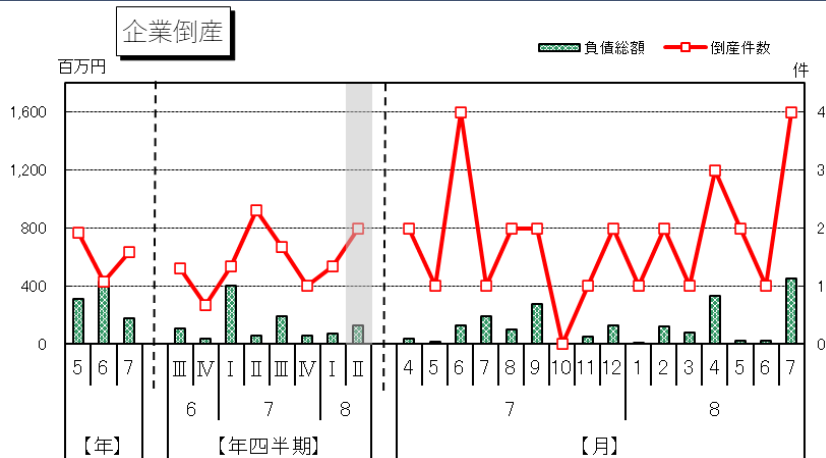
〔企業・団体の生の声〕

- 令和7年4月の建築基準法改正により一時的に着工件数は減少したが一巡し、受注は回復傾向にある。
- 中東情勢の影響で心配していた住宅資材の納入は今のところ問題ないが、価格は上昇した。

<資料：国土交通省、音更町、幕別町、芽室町>

(参考) 企業倒産 負債総額は前年を上回る

企業倒産は、件数は前年を下回っており、負債総額は前年を上回っている。



〔4-6月 月平均〕

負債総額 127.3百万円

倒産件数 2件

〔4-6月 月平均前年同期差〕

負債総額 +67.3百万円

倒産件数 ▲0.3件

(注) 年、四半期は月平均。

<資料：(株)東京商工リサーチ>

(参考) 金融 貸出金残高は前年並み

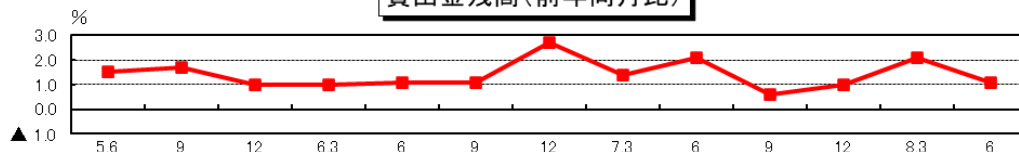
金融機関の貸出金残高（銀行・信用金庫・信用組合ベース）をみると、事業者向けは前年並みとなり、個人向けは前年を上回っている。

（単位：百万円、％）

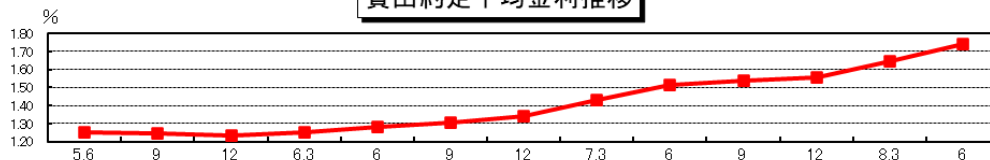
年 月	貸出金残高		事業者向け貸出						個人		地方公共団体	
		前年比		前年比	設備	前年比	運転	前年比		前年比		前年比
5. 6 末	845,040	1.5	491,027	2.0	202,144	4.5	288,883	0.2	281,221	2.5	72,787	▲ 5.7
6. 6 末	854,731	1.1	494,440	0.7	211,713	4.7	282,727	▲ 2.1	287,974	2.4	72,310	▲ 0.7
7. 6 末	872,880	2.1	504,373	2.0	214,663	1.4	289,710	2.5	291,233	1.1	77,269	6.9
7. 3 末	882,632	1.4	511,870	0.8	213,319	1.0	298,551	0.7	292,067	1.7	78,693	3.7
6 末	872,880	2.1	504,373	2.0	214,663	1.4	289,710	2.5	291,233	1.1	77,269	6.9
9 末	874,361	0.6	508,190	▲ 0.7	214,077	1.2	294,113	▲ 2.0	292,887	1.2	73,279	7.2
12 末	915,392	1.0	544,162	0.2	215,069	1.1	329,093	▲ 0.3	294,848	1.2	76,378	5.4
8. 3 末	901,487	2.1	523,555	2.3	215,375	1.0	308,180	3.2	296,183	1.4	81,741	3.9
6 末	882,802	1.1	508,350	0.8	215,075	0.2	293,275	1.2	296,825	1.9	77,621	0.5

年 月	預金残高		要求払		定期性		貸出約定平均金利
		前年比		前年比		前年比	
5. 6 末	1,725,120	0.9	1,214,757	2.6	507,667	▲ 2.9	1.252
6. 6 末	1,748,605	1.4	1,256,714	3.5	489,831	▲ 3.5	1.283
7. 6 末	1,738,390	▲ 0.6	1,256,719	0.0	479,429	▲ 2.1	1.514
7. 3 末	1,699,598	▲ 0.5	1,229,517	▲ 0.0	467,665	▲ 1.7	1.428
6 末	1,738,390	▲ 0.6	1,256,719	0.0	479,429	▲ 2.1	1.514
9 末	1,711,640	▲ 0.4	1,234,868	0.1	474,333	▲ 1.7	1.541
12 末	1,753,446	0.4	1,268,886	0.5	481,566	0.1	1.554
8. 3 末	1,722,788	1.4	1,243,591	1.1	476,439	1.9	1.645
6 末	1,768,682	1.7	1,271,249	1.2	495,186	3.3	1.744

貸出金残高(前年同月比)



貸出約定平均金利推移



(注)「貸出約定平均金利」の基礎データには、制度融資に関する金利データが含まれており、地方公共団体から受け取る利子補給分について、算定可能な限り、これを含めている。